

# 職員採用にメタバース

## 市原市説明会 双方向交流活発に

窓口のデジタルサイ  
ビス化の一環で、仮想  
空間「メタバース」の  
活用を推進している市  
原市は、メタバースで  
市職員採用説明会を開  
いた。県内自治体では  
初の試み。担当者は「市  
がチャレンジする姿勢  
もアピールしていきたく  
い」と狙いを話した。

これまでの対面によ  
る採用説明会では、時  
間に制約があり、遠方  
からの参加も難しかっ  
た。また、ウェブ会議  
システム「Zoom(ズ  
ーム)」を使う場合、  
参加者への説明が一方  
向になる傾向があり、  
双方が十分にコミュニ  
ケーションを取ること  
が課題だった。

これを受け、市は千  
葉商科大(市川市)と  
NTT東日本と連携し  
て進めているメタバ  
ースの活用を、採用説明  
会にも取り入れること  
にした。

千葉商科大学人間社  
会学部の鎌田光直ゼミ  
ナールの学生が空間を



メタバース空間を使った市原市の採用説明会で、  
参加者とやりとりをする市人事課職員(左)と保健  
師(向市)で

作成し、NTT東の助  
言を受けて、参加者全  
員へ説明する空間と、  
事務職と土木職、保健  
師職、消防職員に分か  
れて説明する空間をそ  
れぞれ作成。5月27日  
の説明会には、計9人  
が参加した。

市職員全体の説明  
後、保健師職のコーナ  
ーでは、7年目の職員  
が、加齢による身体機  
能の衰えを防ぐ「フレ  
イル予防事業」など、  
現在携わっている業務  
などを説明した。

参加者からは「時間  
外勤務はどれくらいあ  
るのか」「配属希望は  
通るのか」などの質問  
があり、人事課職員と  
協力して回答した。参  
加者は「初めてメタバ  
ースを使ったが、さま  
ざまな質疑ができてよ  
かった」と感想を述べ  
た。

市人事課の荒井護夫  
課長は「スムーズに対  
話でき、ズームより積  
極的に質問してもらっ  
た。メタバースの良  
さが出ていたのではな  
いか」と手応えを感じ  
ている様子だった。市  
は今後も対面やズーム  
と合わせて、メタバ  
ースの活用拡大を進めて  
いくという。

【浅見茂晴】